



12月の新着絵本



12月12日(土) 貸し出し開始

ここにいる	日曜日には畑仕事や庭の手入れにいそしむ働き者のおとうさん。わたしたちをとときどきひざに座らせて、万年筆で絵を描いてくれた。プールで遊んでいるとき、叱られて庭に隠れているとき…。いつもおとうさんがいた。何げない日々の大切さ、豊かさが実感できる作品
あおきひろえ	

アフリカの音	アフリカの空の下、タイコをたたきダンスをおどる。グンゴドパグンゴドパ。生きているよろこびをわかちあう。グンゴドパグンゴドパ。タイコの音はどこまでもどこまでもひろがっていく。西アフリカのタイコとダンスのはなし。きこえるかな。いのちのひびき、よろこびのリズム。
沢田 としき	

つるかめつるかめ	雷がごろごろ鳴ったら「くわばら くわばら」、地震がぐらぐらきたら「まじやらく まじやらく」、「ちちんぷいぷい ちちんぷい いたいの いたいの とんでいけ…」。おまじないのことば、知ってるかな? よく知っているものや、地方の珍しいおまじないなどを、たくさん集めた絵本です。
中脇 初枝	

めを とじて みえるのは	ベッドに入る時間だけど、この子は眠れません。パパに聞きたいことがいっぱい。どうして海は青いの? どうして葉っぱは色が変わるの? どうして鳥は南へ飛んでいくの?—パパの答えは奇想天外! 空想が広がるステキな答えです。
マック・バーネット	

いすとかえるとかぜのうた	まだ一度も旅に出たことがないけれど、いつも旅の話をしていたりすとかえる。ある日、りすは、手に入れたばかりの舟にのって、かえるに会いにいきました。ところが、かえるはりすに気がつかず、どこかへ行ってしまいました。さびしくて、舟の上でねむってしまったりす。そこへやってきた風たちの歌に、りすはつつみこまれ、そして…。
うえだ まこと	